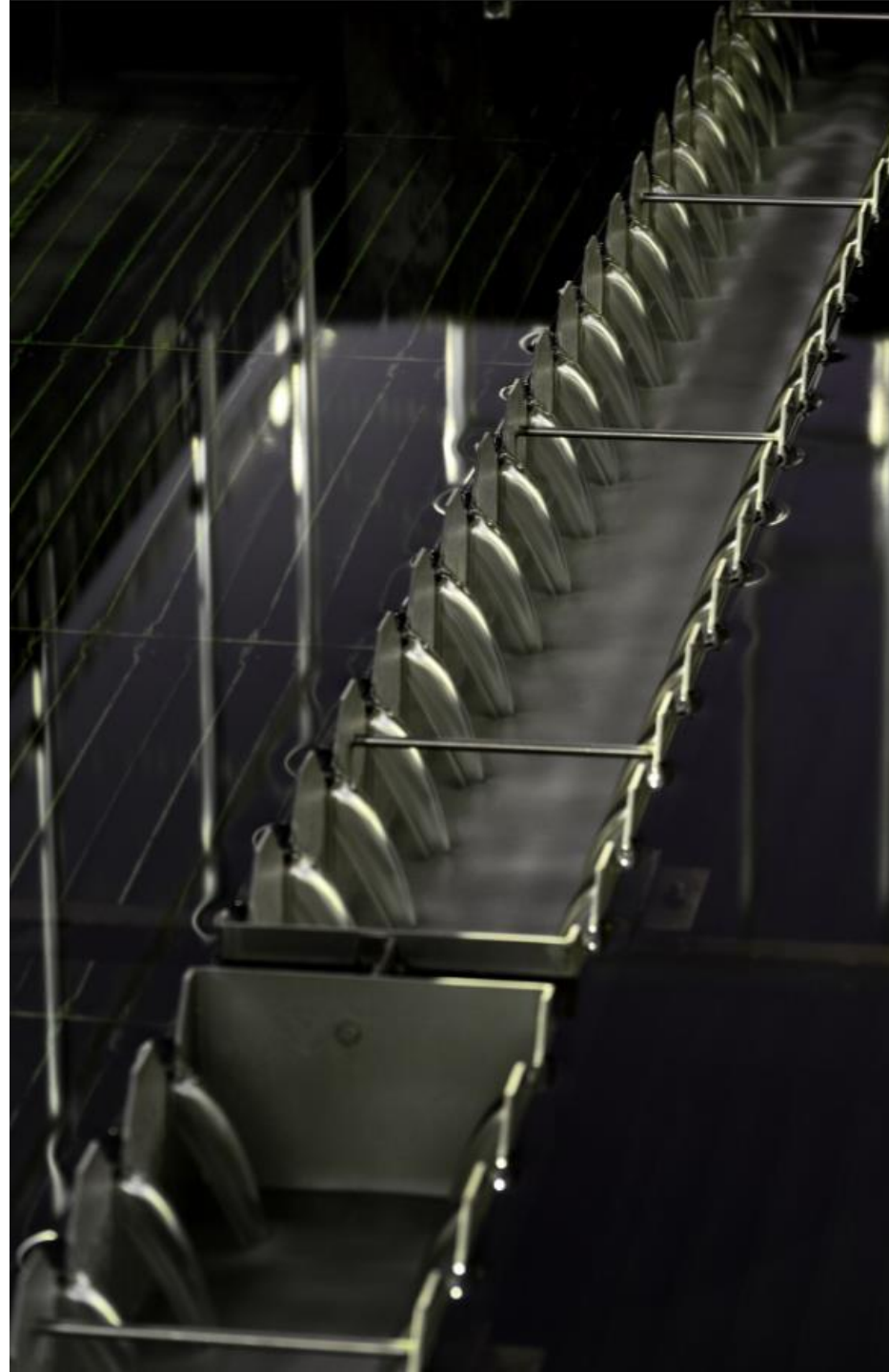


# 令和7年度当初予算の概要

HANSHIN WATER SUPPLY AUTHORITY

水を創る

阪神水道企業団



# CONTENTS

## CHAPTER 01

### 予算編成の概要 3

企業団を取り巻く経営環境	4
予算編成の基本的な考え方	4
令和7年度予算の特徴	5
予算の概況	6

## CHAPTER 02

### 主要施策 7

水源や施設の適切な管理	8
災害時の対応能力の強化	12
経営基盤の強化	14
阪神地域の水道のより良い姿の追求	15

## CHAPTER 03

### 収支見通し 19

収益的収支の状況	20
資本的収支の状況	23
資金収支と資金残額の状況	24

## CHAPTER 04

### 参考資料 25

対経営戦略・前年度当初予算比較	26
建設改良工事明細書	28
新規債務負担行為内訳	29
予定キャッシュ・フロー計算書	30
予定貸借対照表	31

# 0

CHAPTER

# 1

# 予算編成の概要

- Section 1 企業団を取り巻く経営環境
- Section 2 予算編成の基本的な考え方
- Section 3 令和7年度予算の特徴
- Section 4 予算の概況

## 1. 企業団を取り巻く経営環境

企業団では、「安全な水の安定供給の持続」という基本理念を実現するため、水道用水供給ビジョンを定めるとともに、経営戦略2024を策定し、令和6年度から令和17年度までの12年間の計画期間として、主要施策及び投資・財政の見通しを示しています。

企業団を取り巻く経営環境においては、

- ・ 人口減少に伴う水需要の減少
- ・ 施設の老朽化及び更新需要の増加
- ・ 南海トラフ巨大地震などの大地震、気候変動等による豪雨、  
渇水などの自然災害の激甚化や発生リスクの高まり
- ・ 低水温期におけるかび臭、有機フッ素化合物などの水質課題の顕在化
- ・ 物価高騰、金利上昇をはじめとする経済情勢
- ・ サプライチェーンリスク（資機材納入の遅延）や入札不調等、  
公共工事を実施する上での環境の悪化

という課題があり、非常に厳しい状況になると見通しています。

加えて、国土強靱化、デジタル化、脱炭素化といった国の政策を注視し、社会的要請にも対応していく必要があります。

## 2. 予算編成の基本的な考え方

令和7年度は、明石市への新規供給を開始する年であり、企業団にとって歴史的な1年であるとともに、非常に厳しい経営環境の中においても、経営戦略に掲げた施策を実現するために重要な1年となります。

予算編成にあたっては、予算における主要施策として、

- ・ 水源や施設の適切な管理
- ・ 災害時の対応能力の強化
- ・ 経営基盤の強化
- ・ 阪神地域の水道のより良い姿の追求

を掲げ、「経営戦略2024」に掲げた施策の実現に必要な事業費を計上しています。

また、経営環境の変化や新たに生じた課題等を踏まえるとともに、事業の必要性、妥当性を改めて検討し、効率的な事業推進に努めることを基本として予算編成を行っています。

特に令和7年度における主要事項として、令和7年度から開始する明石市への新規供給に向けて、明石市からの加入負担金や神戸市への第三者委託費等の関連予算を計上しています。

### 3. 令和7年度予算の特徴

#### < 明石市への新規供給 >

令和7年度から明石市への新規供給を開始します。

##### 【関連予算】

- ・分賦金、加入負担金、第三者委託費 など

#### < 施設の着実な更新、災害対策の推進 >

施設の耐震化、災害対策、計画的な設備の更新などを実施します。

##### 【継続工事】

- ・猪名川浄水場改修、甲山調整池連絡施設整備
- ・猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替、3期芦部谷送水路更新 など

##### 【新規着工】

- ・東部配水管（猪名川）整備、尼崎浄水場非常用発電機設置 など

#### < コンプライアンスの徹底及び内部統制の強化 >

収賄容疑で職員が逮捕・起訴されたことを受け、不正防止対策を実施します。

##### 【主な取組内容】

- ・個別外部監査の実施、コンプライアンス研修の実施、入札監視委員会の設置 など

#### < 広域連携施策の検討 >

構成市をはじめ、兵庫県企業庁や近隣水道事業者と広域連携施策の検討を実施します。

##### 【主な取組内容】

- ・広域連携施策企画・検討業務 など

#### < 施設整備の進捗 >

【建設改良費予算額124億円：対前年度予算+31億円、対経営戦略△113億円】

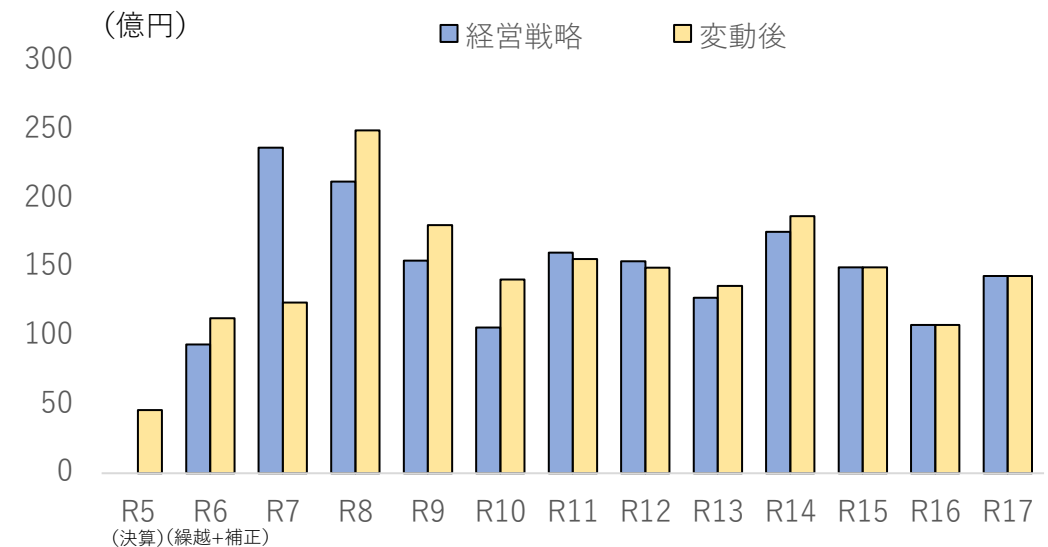
施設の老朽化や災害対策により建設改良費が増加傾向にあります。

一方で、土壌汚染対策法に係る調査及び関係機関との協議等により、猪名川浄水場改修工事が1年程度遅れる見込みとなっています。また、他工事においても、入札不調等により工程に遅れが生じています。

これらの影響により、建設改良費の令和7年度予算計上額は、経営戦略と比較して大幅に減少しています。

なお、工事が後送りになることにより、後年度の建設改良費は、経営戦略と比べ増加する見込みです。

建設改良費の変動見込み



## 4. 予算の概況

- <業務予定量> 年間給水量は269,165,025<sup>m</sup>となり、前年度に比べ10,308,881<sup>m</sup>増加する予定です。新たに明石市を供給先に追加しています。
- <収益的収支> 当年度純利益は、物価高騰の影響等により、前年度比44.4%の821,245千円となり、大幅に減少する見込みです。
- <資本的収支> 資本的収支不足額は、建設改良費の増等により、前年度比119.3%の10,330,523千円となり、増加する見込みです。
- <資金残額> 当年度末資金残額は、前年度比85.2%の11,797,901千円となり、減少する見込みです。

### 1 業務の予定量

(単位 <sup>m</sup>)

給水市名	1日平均給水量	分賦基本水量	給水量
神戸市	440,442	160,761,151	158,027,763
尼崎市	160,426	58,555,455	45,859,032
西宮市	130,056	47,470,291	45,009,650
芦屋市	28,455	10,386,113	9,236,860
宝塚市	21,000	7,665,000	7,665,000
明石市	9,224	3,366,720	3,366,720
計	789,602	288,204,730	269,165,025

### (参考) 予算における給水量の推移

(単位 <sup>m</sup>)

給水市名	前年度当初予算	R7年度予算	差引
神戸市	155,339,985	158,027,763	2,687,778
尼崎市	41,279,960	45,859,032	4,579,072
西宮市	45,314,769	45,009,650	△ 305,119
芦屋市	9,256,430	9,236,860	△ 19,570
宝塚市	7,665,000	7,665,000	0
明石市	-	3,366,720	3,366,720
計	258,856,144	269,165,025	10,308,881

### 2 収益的収支

(税込、単位 千円)

	前年度 当初予算	経営戦略	R7年度予算	前年度比	経営戦略比
水道事業収益	21,132,376	22,929,557	21,839,455	103.3%	95.2%
水道事業費用	18,395,738	20,135,705	19,849,255	107.9%	98.6%
収支差引額	2,736,638	2,793,852	1,990,200	72.7%	71.2%
当年度純利益(税抜)	1,850,380	613,649	821,245	44.4%	133.8%

※地方公営企業会計においては、税込みの収支差引と税抜きの当年度純利益に、消費税資本的収支調整額及び貯蔵品に係る消費税分の差異が生じます。

### 3 資本的収支

(税込、単位 千円)

	前年度 当初予算	経営戦略	R7年度予算	前年度比	経営戦略比
資本的収入	5,033,628	10,088,221	6,204,202	123.3%	61.5%
資本的支出	13,696,512	27,734,093	16,534,725	120.7%	59.6%
収支差引額※	△ 8,662,884	△ 17,645,872	△ 10,330,523	119.3%	58.5%

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金、繰越利益剰余金処分額(減債積立金)等で補てんします。

### 4 資金残額

(税込、単位 千円)

	前年度 補正予算	経営戦略	R7年度予算	前年度比	経営戦略比
当年度末資金残額	13,842,499	5,001,380	11,797,901	85.2%	235.9%

# CHAPTER 02 主要施策

- Section 1 水源や施設の適切な管理
- Section 2 災害時の対応能力の強化
- Section 3 経営基盤の強化
- Section 4 阪神地域の水道のより良い姿の追求

# 1. 水源や施設の適切な管理

## (1) 適切な水質管理



安全な水を供給するため、水質管理を強化します。



有機フッ素化合物検査機器

関連事業費  
**0.5 億円**

### 【具体的取組】

#### 水質分析機器の更新

企業団の更新・点検整備基準に基づき、水質分析機器を適切に更新します。

#### 低水温期のかび臭対策

オゾン処理による低水温期のかび臭の除去性能を大学等と連携して調査するため、所要の経費を計上します。（新規）

また、粉末活性炭自動注入設備の導入について、引き続き検討します。

#### 有機フッ素化合物（PFAS）への対応

有機フッ素化合物の定期検査を継続するとともに、将来的に規制が強化された場合に備え、粒状活性炭による処理性の調査等に取り組みます。

## (2) 施設の適切な維持管理



故障等による事故を未然に防ぎます。



設備点検の様子

関連事業費  
**26.3 億円**

### 【具体的取組】

#### 適切な点検・修理

施設規模の適正化に伴う施設稼働率上昇により、各施設の重要度がこれまで以上に増加します。安定供給に支障を来たさないよう、適切に点検・修理を実施するための予算について所要額を計上します。

#### 【主な修繕工事】

- ・脱水機点検整備、オゾン設備点検整備、大道取水管理橋塗装
- ・猪名川ポンプ井内面補修、猪名川Ⅱ系沈澱池流入渠内面補修 など

#### ICTを活用した維持管理の高度化

設備点検システムを導入し、点検情報の蓄積等による維持管理の高度化を図ります。

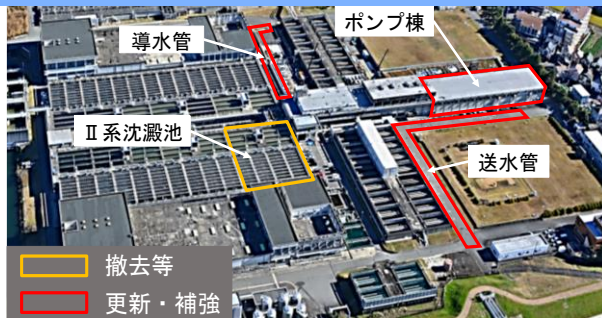


# 1. 水源や施設の適切な管理

## (3) 施設の着実な更新（構造物）



### 構造物整備事業（基幹施設の更新及び耐震化）



猪名川浄水場Ⅰ・Ⅱ系

関連事業費  
**29.4 億円**

#### 【具体的取組】

浄水場等の基幹施設について、引き続き更新及び耐震化を進めます。

工事契約の遅れや、土壌汚染対策法に係る調査及び関係機関との協議により、猪名川浄水場改修工事は令和9年度の完成となり1年程度遅れる見通しです。

#### <主要指標の計画・予算比較>

	令和6年度		令和7年度		令和8年度	令和9年度
	計画値	見込値	計画値	予定値	計画値	計画値
浄水施設耐震化率 (%)	53.9	53.9	53.9	53.9	87.2	87.2
ポンプ所耐震化率 (%)	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	90.2
配水池耐震化率 (%)	80.8	80.8	80.8	80.8	80.8	80.8

実績・予算

予定  
(ゼロ債務を含む。)

計画

矢印標記は令和9年度以降も継続する事業

年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
尼崎系統	淀川取水場			管理棟	
	西宮ポンプ場			第1配水池	
猪名川系統	大道取水場			場内配管	
	猪名川浄水場	浄水施設の一部撤去・浄水池場内配管・ポンプ井流入管・電気棟			
	配水池等	上ヶ原接合井（移設） 甲山調整池連絡施設（3期甲東送水路からの分岐増圧施設）			
その他			本庁舎（内装）		

※計画とは経営戦略2024における施設整備計画及び業務指標をいう。以下同様

# 1. 水源や施設の適切な管理

## (4) 施設の着実な更新（管路）



### 管路整備事業（老朽化した管路の更新及び耐震化）



送水管更新事業

関連事業費  
**27.4 億円**

#### 【具体的取組】

老朽化した水道管路の更新を継続（約1.3km）します。

また、老朽化対策に合わせ、耐震性・耐久性に優れる管材料を使用する等、管路の耐震化を実施します。

猪名川浄水場改修工事が遅れる影響もあり、3期猪名川送水管更新工事の実施時期を令和10年度以降に見直します。

#### < 主要指標の計画・予算比較 >

	令和6年度		令和7年度		令和8年度	令和9年度
	計画値	見込値	計画値	予定値	計画値	計画値
管路の耐震化率 (%)	60.4	60.4	61.2	61.2	66.2	66.5

実績・予算

 予定  
(ゼロ債務を含む。)

計画

矢印標記は令和9年度以降も継続する事業

年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
尼崎系統	送水管 (トンネルを含む。)			4期西宮送水管 (断水対策)	● ●
	配水管	●	●	●	●
猪名川系統	送水管 (トンネルを含む。)		3期猪名川送水管 (藻川・金岡川)		
				令和10年度以降に実施時期を見直し	
		3期甲東送水管	●	●	
	3期芦部谷送水路	●	●		
	配水管 (東部)	●	●	●	●

# 1. 水源や施設の適切な管理

## (5) 施設の着実な更新（設備）

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

### 設備整備事業（計画的な設備の更新）



センター設備

関連事業費  
**48.2 億円**

#### 【具体的取組】

企業団の更新・点検整備基準に基づき計画的にポンプや電気・機械設備を更新します。

猪名川浄水場のⅡ系オゾン設備の更新にあたっては、エネルギー効率に優れた高濃度オゾン発生器を導入し、トータルコストの縮減を図るとともに、設計、施工等に係る一括発注方式（DBM）を導入しています。

甲東ポンプ場の受配電設備については、受電棟築造工事の入札不調等による工程の見直しにより、更新に遅れが生じる見通しです。

また、猪名川浄水場改修工事が遅れる影響により、猪名川浄水場の送配水ポンプ等の更新に遅れが生じる見通しです。

実績・予算 ———— 予定 (ゼロ債務を含む。) - - - - - 計画 .....  
 矢印標記は令和9年度以降も継続する事業

年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
尼崎系統	尼崎浄水場	浄水処理設備（計算機・オゾン）				▶
		送配水ポンプ				▶
猪名川系統	大道取水場	除塵機				▶
		受配電設備				▶
		導水ポンプ				▶
猪名川系統	猪名川浄水場	浄水処理設備				▶
		特高監視設備、配電設備				▶
		送配水ポンプ				▶
猪名川系統	甲東ポンプ場	受配電設備				▶
		送配水ポンプ				▶
その他		センター設備				▶
		テレメータ設備				▶

## 2. 災害時の対応能力の強化

### (1) 停電対策・浸水対策の実施



停電対策として、非常用発電設備の整備を進めます。  
重要設備の建屋を対象とした浸水対策を実施します。



既存浸水防止パネル（猪名川浄水場）

関連事業費  
**0.8 億円**

#### 【具体的取組】

##### 停電対策

停電時にも最低限の水供給を継続するため、尼崎浄水場における非常用発電機の設置（DBM）及び西宮ポンプ場エンジンポンプの取替えを進め、停電時の配水能力を確保します。

災害時の燃料確保のため、民間事業者による燃料配送サービスについて、新たに業務委託を締結します。（新規）

##### 浸水対策

降雨（1年の間に1/100～1/200の確率で発生するもの）による浸水を想定した浸水防止パネルの設置及び補修を計画的に実施します。

令和7年度は尼崎浄水場の浸水防止パネルの設置及び補修を実施します。

実績・予算

予定  
(ゼロ債務を含む。)

計画

矢印標記は令和9年度以降も継続する事業

#### 【停電対策の整備工程】

年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
尼崎系統	尼崎浄水場	発電設備			→
	西宮ポンプ場	エンジンポンプ			→
猪名川系統	猪名川浄水場	発電設備			→
	甲東ポンプ場	発電設備			→

注: 矢印標記は令和9年度以降も継続する事業を示す。

#### < 主要指標の計画・予算比較 >

	令和6年度		令和7年度		令和8年度	令和9年度
	計画値	見込値	計画値	予定値	計画値	計画値
全施設停電時に確保できる配水能力 (m <sup>3</sup> /日)	0	0	0	0	0	80,000

## 2. 災害時の対応能力の強化

### (2) バックアップ機能の向上

系統間の連絡機能の強化と貯留能力の増強を図ります。



甲山調整池連絡施設工事

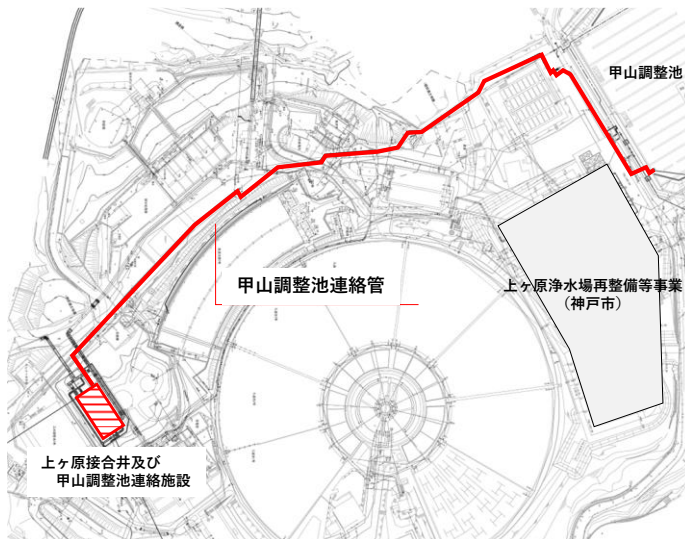
関連事業費  
**13.7 億円**

#### 【具体的取組】

##### 甲山調整池連絡施設の整備 (R3～R7)

猪名川浄水場系統である3期甲東送水路から、尼崎浄水場系統である甲山調整池への連絡施設を整備し、系統間の連絡機能の強化を図ります。

また、3期甲東送水路の上ヶ原水管橋付近で土砂災害対策を実施します。



### (3) 危機管理体制の強化

災害訓練の実施やマニュアルの整備等により、ソフト面の災害対応能力を強化します。



応急給水訓練

関連事業費  
**1 百万円**

#### 【具体的取組】

##### 災害訓練の実施

実地訓練、初動対応訓練、災害対策本部訓練など、様々な状況を想定した訓練を実施します。

##### 災害応援協定に基づく相互応援体制等

近隣の水道事業者だけでなく、遠方の事業者や民間企業とも災害時の応急復旧に関する協定を締結し、災害時の対応能力の強化を図っています。

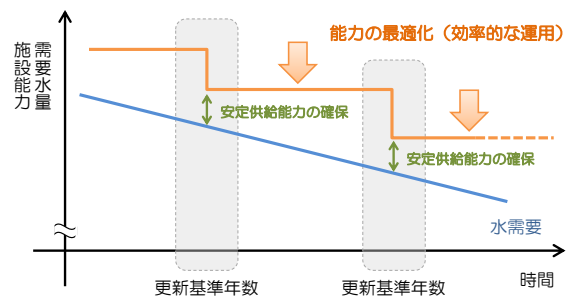
##### 職員の給水車運転免許の取得促進

運転免許取得助成制度により、職員の給水車運転に係る免許取得を促進し、地震や風水害などの災害時における迅速な対応を図ります。

## 3. 経営基盤の強化

### (1) 経営努力の継続（事業見直し）

施設規模の適正化や新技術の導入等によるコスト削減を図ります。



水需要に応じた施設規模の適正化

コスト削減額合計  
**6.7 億円**

#### 【具体的取組】

##### 猪名川浄水場のダウンサイジング

水需要の動向を踏まえ、猪名川浄水場の1系統相当を停止します。

##### 管路口径の縮径

3期甲東送水路更新工事に際し、水需要に応じて口径を縮径することで、更新コストを抑制します。

##### エネルギー効率に優れた設備の導入

オゾン設備の更新に際し、エネルギー効率に優れた高濃度オゾン発生器を導入し、トータルコストの縮減を図ります。

### (2) 経営努力の継続（財源確保）

資産の有効活用や国庫補助金の獲得等に努めます。



尼崎浄水場上部空間の有効活用

財源確保額合計  
**+ 5.1 億円**

#### 【具体的取組】

##### 保有資産の有効活用

水道施設上部空間及び保有地の民間事業者への貸付等、保有資産を有効活用することで、収益の確保を図ります。

##### 国庫補助金等の獲得

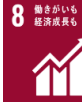
物価が上昇する中、災害対策等の財源を確保するため、国等への要望を実施しつつ国庫補助金等の獲得に努めます。

##### 浄水発生土の有効利用

浄水処理過程で発生する浄水発生土を園芸用土等に有効利用することで、再資源化に取り組むとともに、処分費の抑制を図ります。

## 3. 経営基盤の強化

### (3) 組織体制の強化



技術継承に必要な人材の確保・育成に取り組みます。



他事業体浄水場の施設見学

研修費等  
**15** 百万円

#### 【具体的取組】

##### 人材確保と人材育成

採用人数の平準化等により、年齢構成に留意するとともに、就職情報サイトへの更なる早期掲載により、学生に向けての発信力を高めるなど、計画的な人材の確保に努めます。

人材育成方針に基づく施策として、多様な人材確保のための採用活動、職員の主体的な能力開発と能力発揮を促すための研修制度、ICTツール・システム等を活用した人材育成、高齢期職員の活躍促進等の取組を進めます。

### (4) コンプライアンスの徹底及び内部統制の強化

収賄容疑による職員の起訴を踏まえ、不正防止を徹底します。



コンプライアンス研修

関連事業費  
**6** 百万円

#### 【具体的取組】

##### 不正防止の取組と内部統制の強化

収賄容疑で職員が逮捕・起訴されたことを受け、市民の信頼回復を図り、二度とこのような事態が生じないようにするため、所要の経費を計上し、内部統制を強化するための取組を実施します。（新規）

- ・ 個別外部監査の実施
- ・ コンプライアンス研修の実施
- ・ 入札監視委員会の設置

## 3. 経営基盤の強化

### (5) 進歩する技術への対応



新技術導入に向けた調査検討、ICT活用・DXを推進します。



アンモニア態窒素  
自動測定装置

関連事業費  
**2.9 億円**

#### 【具体的取組】

##### アンモニア態窒素自動測定装置の導入に向けた調査

塩素注入の安定化や業務の効率化を目的に、アンモニア態窒素の自動測定装置を浄水場に試行的に導入して、測定精度や維持管理のしやすさを調査します。

##### ICT活用・DXの推進

DX戦略に基づき、業務の標準化、クラウド化、デジタル化を進めるとともに、資産管理システムの導入等のシステムの刷新、LANの無線化等のDX環境の整備、人材育成などの取組を進めます。

### (6) 官民連携



一括発注方式の導入や民間事業者との連携に取り組みます。



オゾン発生器

関連事業費  
**0.4 億円**  
(再掲)

#### 【具体的取組】

##### 設計、施工等に係る一括発注方式の導入

猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備に加え、非常用発電設備の設置に設計施工等の一括発注方式（DBM）を導入します。

##### 民間事業者との連携

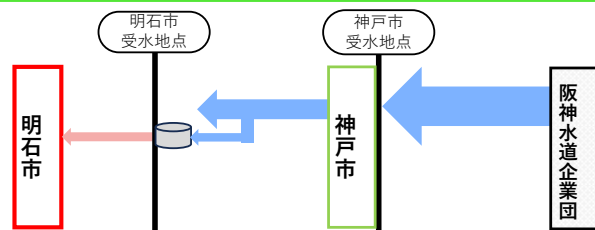
「民間事業者とのパートナーシップ構築ガイドライン」に基づき、民間事業者から連携のアイデアを常時受け付けるとともに、企業団からも新技術の共同研究を提案していきます。



## 4. 阪神地域の水道のより良い姿の追求

### (1) 明石市への新規供給

明石市への新規供給を開始します。



明石市と企業団は直接管で結ばれていないため  
明石市への送水業務を神戸市に第三者委託

明石市への新規供給スキーム

明石市分賦金  
+ 2.3 億円

#### 【具体的取組】

令和7年度より明石市への新規供給を開始します。

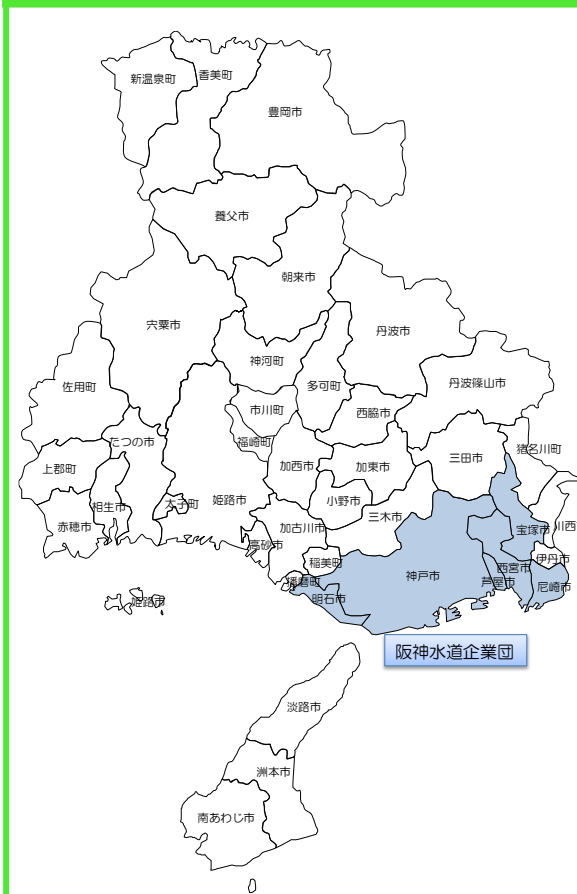
関連予算として、分賦金や、明石市からの加入負担金、神戸市への第三者委託費等を計上します。

#### 【関連予算】

- ・ 分賦金
- ・ その他営業収益（神戸市への第三者委託に係る明石市負担分）
- ・ 諸費（神戸市への第三者委託費）
- ・ 特別利益、特別損失、出資金、出資金返還金（加入負担金）
- ・ 建設改良費（明石市への送水管の整備費用）

### (2) 阪神地域を俯瞰した広域連携

構成市や近隣自治体との広域連携に取り組みます。



近隣水道事業者との連携

広域連携検討経費  
0.6 億円

#### 【具体的取組】

#### 広域連携施策の検討

経営環境が非常に厳しい状況になると見込まれる中、構成市をはじめ、兵庫県企業庁や近隣水道事業者との連携を強化し、効率的な事業運営に努めます。

これらの検討を推進するため、令和7年度予算において、所要の経費を計上します。（新規）

## 4. 阪神地域の水道のより良い姿の追求

### (3) 地域住民に対する情報発信

広報戦略を推進し、企業団の認知度向上を目指します。



尼崎浄水場特別開放イベント

関連事業費  
**15** 百万円

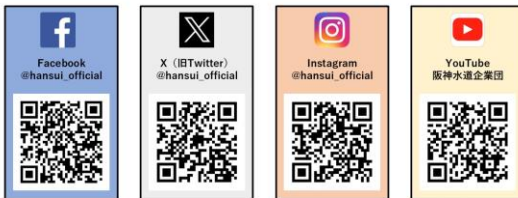
#### 【具体的取組】

##### 広報戦略の推進

尼崎浄水場特別開放イベント等の対面による活動、Webサイト・SNSを活用した活動を実施するとともに他団体イベントへの協賛も継続します。

また、新たな取組としてサイネージ広告を実施します。

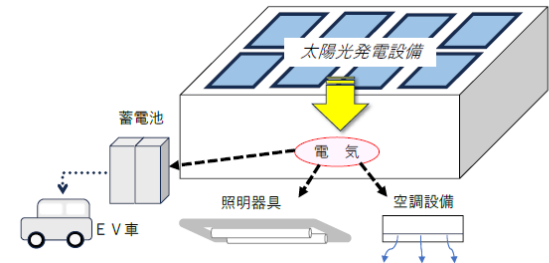
企業団の取組やイベント等について、発信していきます！  
是非フォロー及び拡散をお願いいたします！



SNSを活用した広報活動

### (4) 更なる脱炭素化に向けた検討・実施

脱炭素化に向け、環境に配慮した取組を実施します。



再生可能エネルギー活用イメージ

関連事業費  
**8.7** 億円  
(再掲)

#### 【具体的取組】

##### 本庁舎改修工事 (R5～R7)

建物断熱などで空調負荷を削減し、最適な能力の空調設備への更新、LED照明の導入などを実施します。

##### 再生可能エネルギーの更なる活用

民間事業者と連携した太陽光発電の実施等、他団体が実施している取組も参考に、再生可能エネルギーの更なる活用について、検討を進めます。

# 03 収支見通し

CHAPTER

- Section 1 収益的収支の状況
- Section 2 資本的収支の状況
- Section 3 資金収支と資金残額の状況

# 1. 収益的収支の状況

## (1) 収益的収入

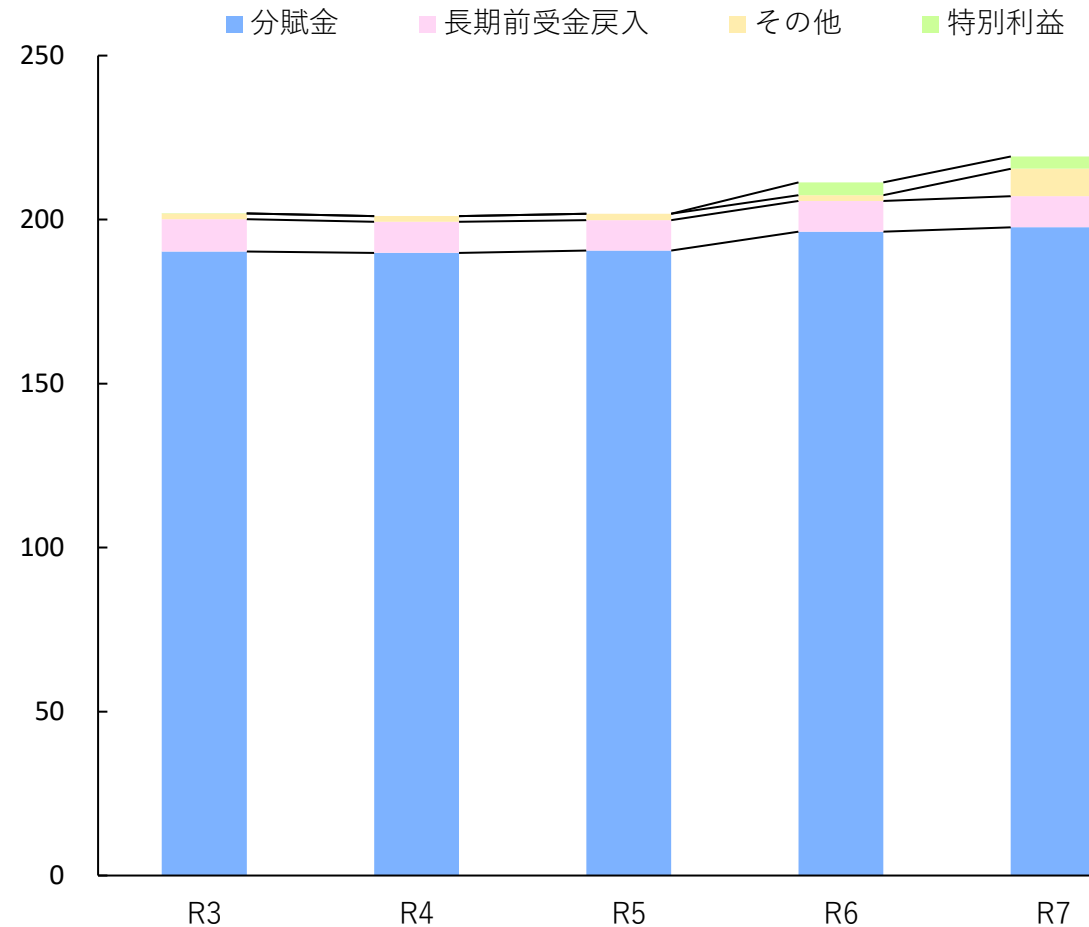
収益的収入は、前年度に比べ707,079千円増の21,839,455千円を計上しています。  
前年度に比べて、営業収益は、受託工事収益の増等により556,830千円増加し、  
営業外収益は、消費税還付金の増等により163,744千円増加となる見込みです。

(単位 千円)

	前年度 当初予算	R7年度予算	前年度差引	前年度比
1.水道事業収益	21,132,376	21,839,455	707,079	103.3%
1. 営業収益	19,646,496	20,203,326	556,830	102.8%
1.分賦金	19,626,984	19,763,968	136,984	100.7%
2.受託工事収益	11,309	306,855	295,546	2713.4%
3.その他営業収益	8,203	132,503	124,300	1615.3%
2. 営業外収益	1,097,979	1,261,723	163,744	114.9%
1.受取利息	2,556	38,045	35,489	1488.5%
2.補助金	11,979	17,207	5,228	143.6%
3.長期前受金戻入	939,384	947,206	7,822	100.8%
4.消費税還付金	0	115,982	115,982	-
5.雑収益	144,060	143,283	△ 777	99.5%
3. 特別利益	387,901	374,406	△ 13,495	96.5%

## 収益的収入の当初予算推移

(億円)



# 1. 収益的収支の状況

## (2) 収益的支出

収益的支出は、前年度に比べ1,453,517千円増の19,849,255千円を計上しています。  
 前年度に比べて、営業費用は、施設管理費の増等により1,700,311千円増加し、営業外費用は、消費税の減等により196,393千円減少となる見込みです。

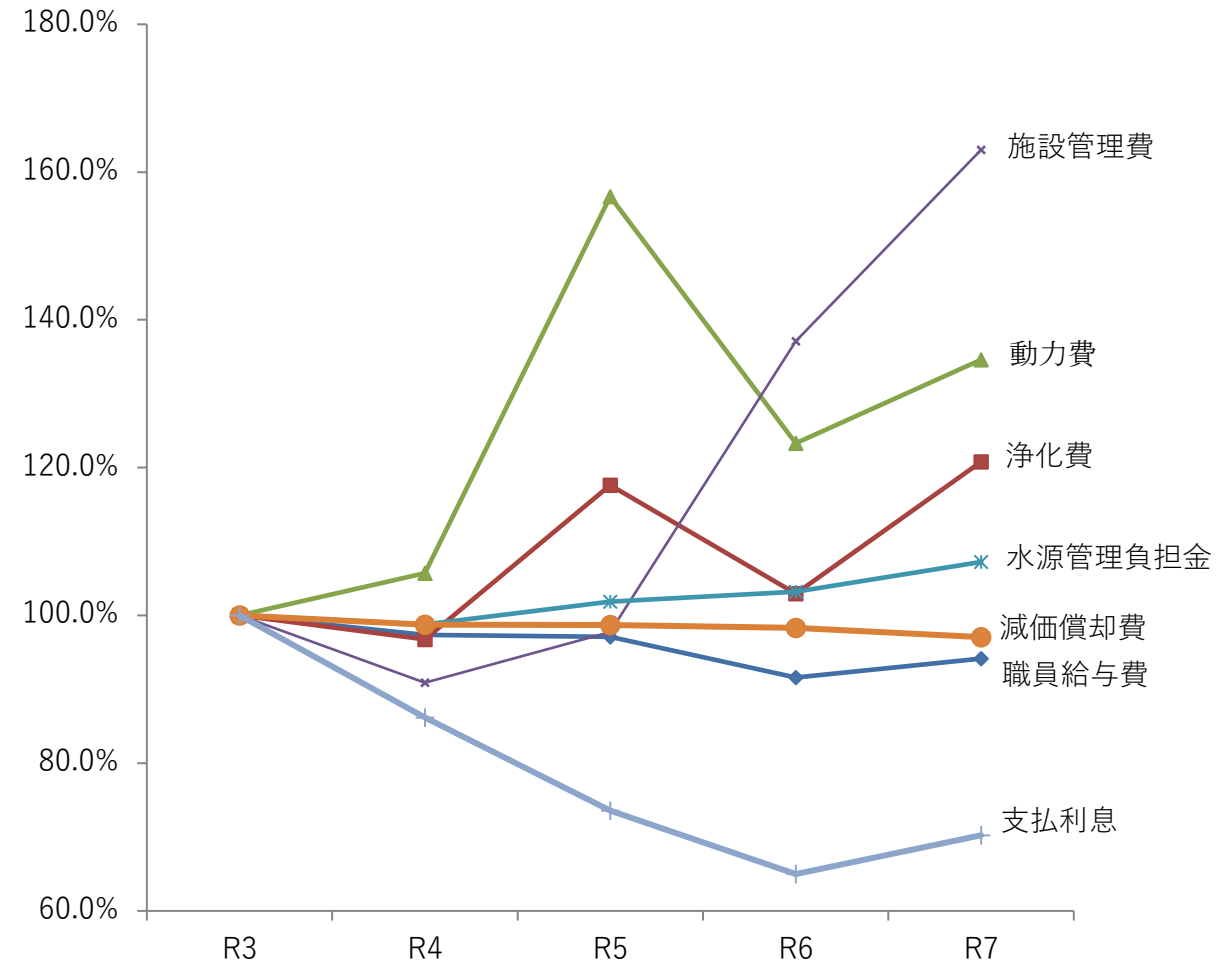
物価上昇により浄化費及び動力費も増加傾向にあり、将来的な経営状況の悪化が懸念されます。

(単位 千円)

	前年度 当初予算	R7年度予算	前年度差引	前年度比
1.水道事業費用	18,395,738	19,849,255	1,453,517	107.9%
1. 営業費用	17,219,834	18,920,145	1,700,311	109.9%
1. 職員給与費	1,930,427	1,984,549	54,122	102.8%
2. 浄化費	863,292	1,012,771	149,479	117.3%
3. 動力費	3,376,619	3,686,461	309,842	109.2%
4. 施設管理費	2,213,161	2,631,362	418,201	118.9%
5. 受託工事費	11,309	306,855	295,546	2713.4%
6. 物件費	188,974	179,245	△ 9,729	94.9%
7. 諸費	1,082,020	1,368,839	286,819	126.5%
8. 水源管理負担金	461,630	479,710	18,080	103.9%
9. 減価償却費	7,012,345	6,924,539	△ 87,806	98.7%
10. 資産減耗費	80,057	345,814	265,757	432.0%
2. 営業外費用	746,093	549,700	△ 196,393	73.7%
1. 支払利息	498,650	539,152	40,502	108.1%
2. 消費税	238,760	0	△ 238,760	0.0%
3. 雑支出	8,683	10,548	1,865	121.5%
3. 特別損失	424,811	374,410	△ 50,401	88.1%
4. 予備費	5,000	5,000	0	100.0%

## 当初予算における主な収益的支出項目の増減

※ 5年前（令和3年度当初予算）を100とした比較



## 1. 収益的収支の状況

### (3) 純損益

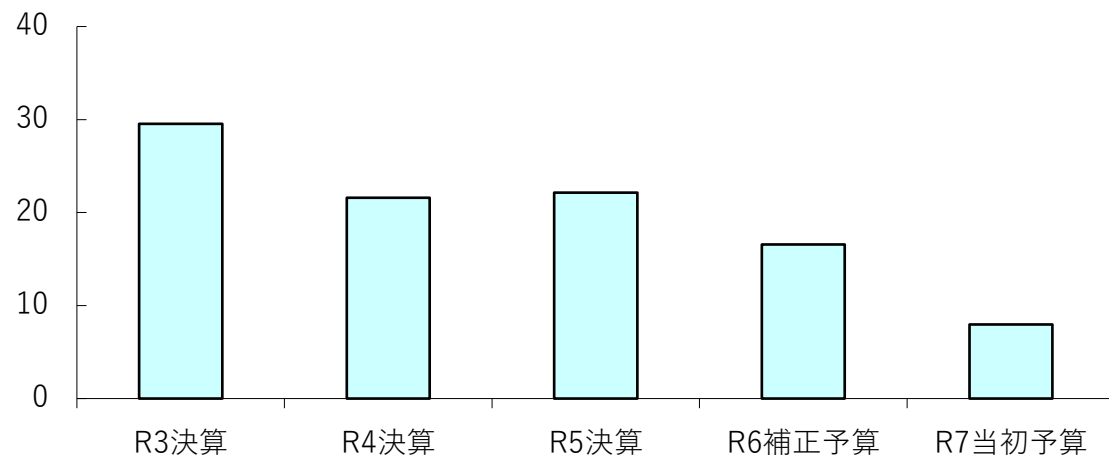
当年度純損益については、施設管理費及び動力費の増等の影響により、前年度に比べて834,202千円減の**821,245千円**となる見込みです。

(単位 千円)

	前年度 補正予算	R7年度予算	前年度差引	前年度比
当年度純損益	1,655,447	821,245	△ 834,202	49.6%

### 当年度純損益の推移

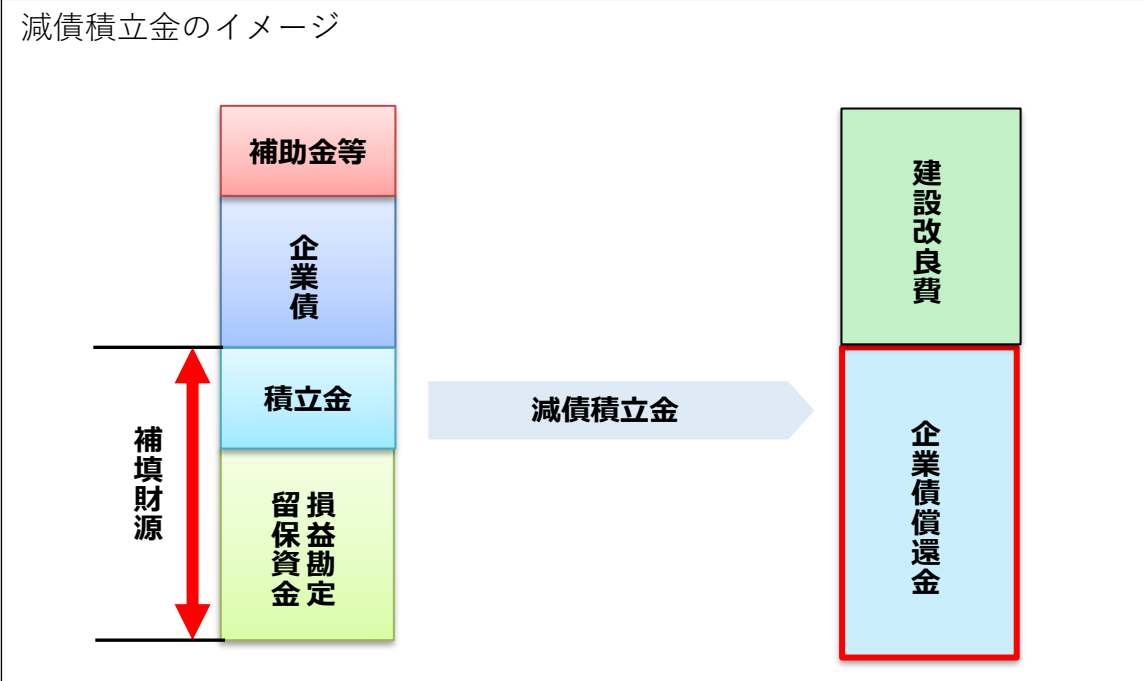
(億円)



### (4) 利益剰余金の予定処分

今後、資本的支出や企業債残高の増大が見込まれることから、資本的収支不足額の補填財源を確保するため、**令和6年度決算において発生が見込まれる繰越利益剰余金を、減債積立金に予定処分します。**

減債積立金とは  
企業債の償還に充てる目的により積み立てる積立金です。



## 2. 資本的収支の状況

### (1) 資本的収入

資本的収入は、企業債の増により、前年度に比べて1,170,574千円増の6,204,202千円を計上しています。

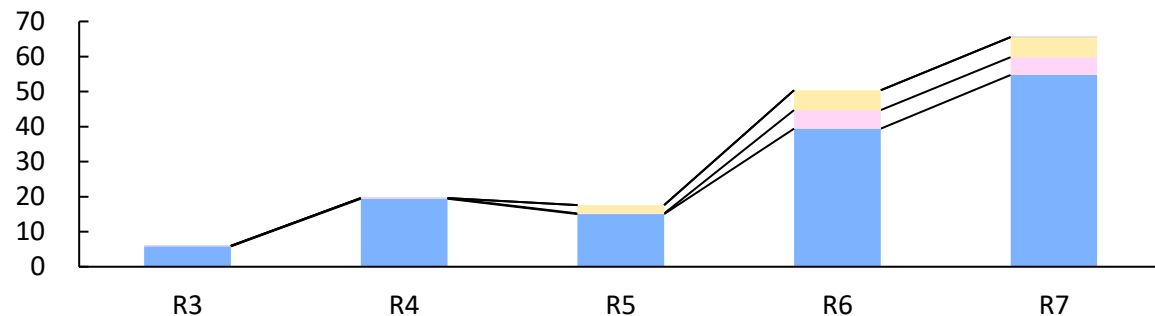
(単位 千円)

	前年度 当初予算	R7年度予算	前年度差引	前年度比
1. 資本的収入	5,033,628	6,204,202	1,170,574	123.3%
1. 企業債	3,939,000	5,327,000	1,388,000	135.2%
2. 出資金	527,334	508,478	△ 18,856	96.4%
3. 国庫補助金	567,291	368,721	△ 198,570	65.0%
4. その他	3	3	0	100.0%

### 資本的収入の当初予算推移

■ 企業債 ■ 出資金 ■ 国庫補助金 ■ その他

(億円)



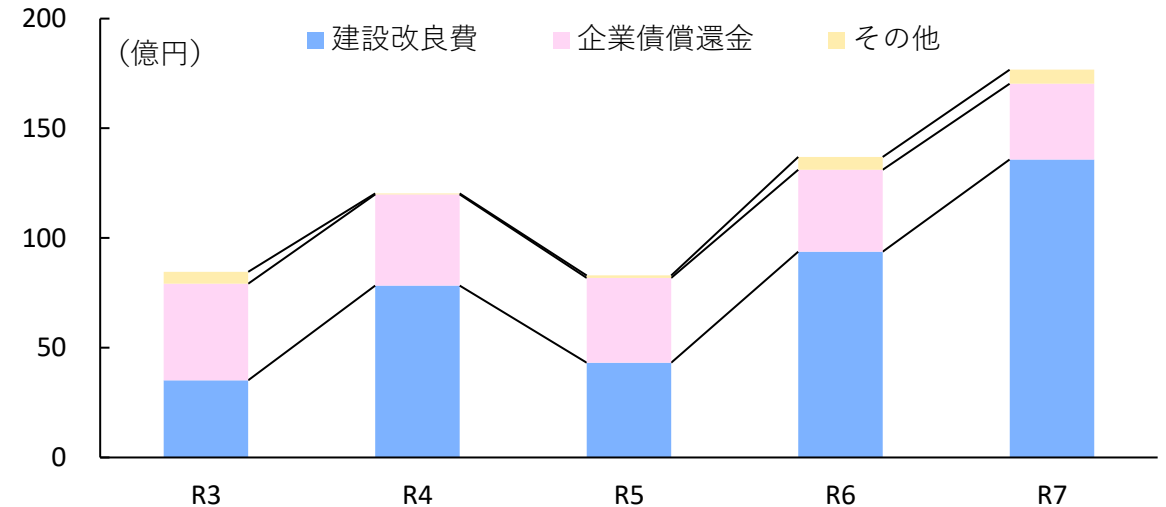
### (2) 資本的支出

資本的支出は、建設改良費の増等により、前年度に比べて2,838,213千円増の16,534,725千円を計上しています。

(単位 千円)

	前年度 当初予算	R7年度予算	前年度差引	前年度比
1. 資本的支出	13,696,512	16,534,725	2,838,213	120.7%
1. 建設改良費	9,379,401	12,439,064	3,059,663	132.6%
2. 企業債償還金	3,730,629	3,452,104	△ 278,525	92.5%
3. その他	586,482	643,557	57,075	109.7%

### 資本的支出の当初予算推移



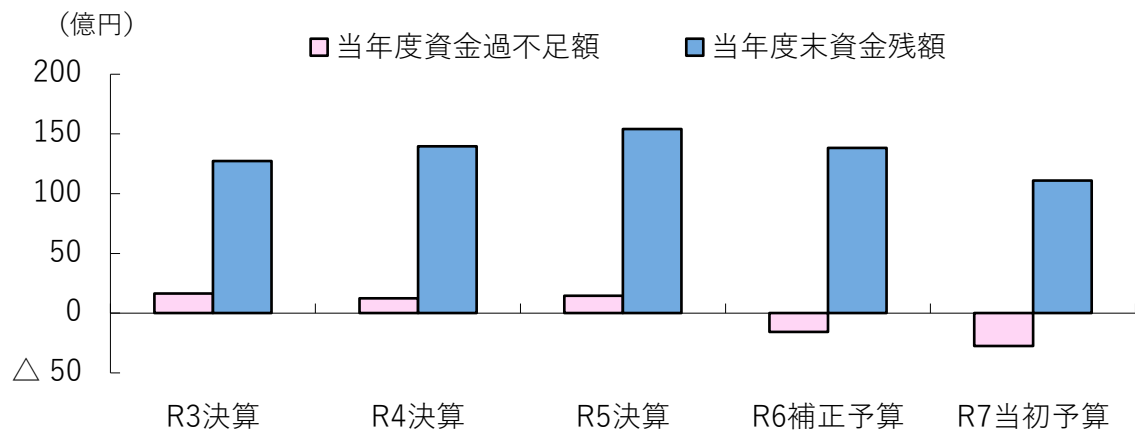
### 3. 資金収支と資金残額の状況

#### (1) 資金収支

資本的収支の不足額△10,330,523千円を損益勘定留保資金等で補てんした結果、**当年度の資金過不足額は△2,044,598千円となる見込みです。**

(単位 千円)

	前年度 補正予算	R7年度予算	前年度差引
①資本的収支差引額	△ 10,212,481	△ 10,330,523	△ 118,042
②補てん財源 (当年度発生分)	8,646,088	8,285,925	△ 360,163
消費税資本的収支調整額	812,385	1,086,712	274,327
当年度分損益勘定留保資金	6,178,256	6,377,968	199,712
当年度純利益又は純損失 (△)	1,655,447	821,245	△ 834,202
当年度資金収支 (過不足額) (①+②)	△ 1,566,393	△ 2,044,598	△ 478,205



#### (2) 資金残額

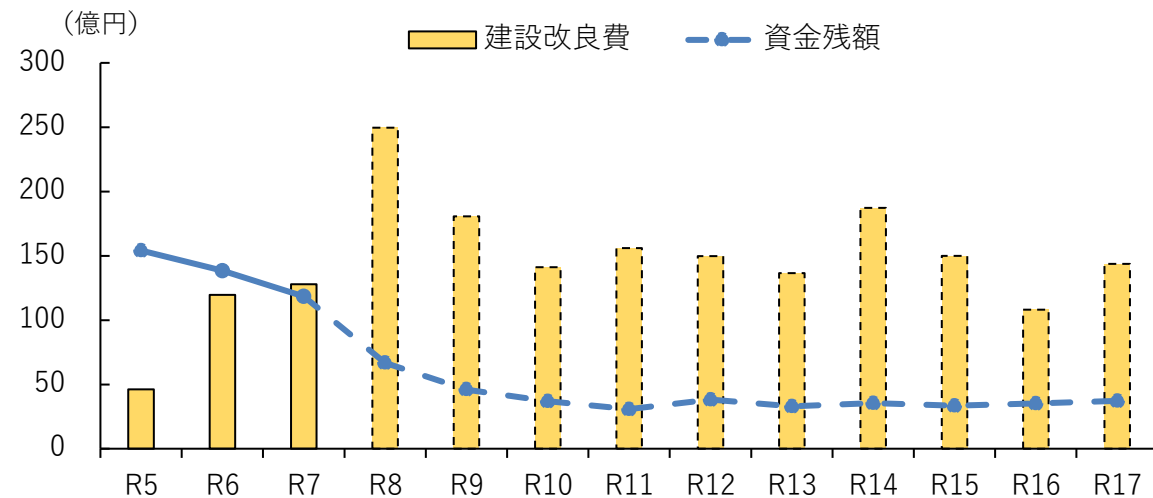
資金残額は、建設改良費の増等により、前年度に比べて2,044,598千円減の11,797,901千円となる見込みです。

なお、建設改良費は今後も引き続き高い水準で推移する見込みであり、資金残額は今後大幅に減少する見込みです。

(単位 千円)

	前年度 補正予算	R7年度予算	前年度差引	前年度比
前年度末資金残額	15,408,892	13,842,499	△ 1,566,393	89.8%
当年度資金過不足額	△ 1,566,393	△ 2,044,598	△ 478,205	130.5%
当年度末資金残額	13,842,499	11,797,901	△ 2,044,598	85.2%

#### 建設改良費と資金残額の見通し



※経営戦略2024に予算編成時点で判明した建設改良費の将来的な変動を反映



# CHAPTER 04 参考資料

- Section 1 対経営戦略・前年度当初予算比較
- Section 2 建設改良費明細書
- Section 3 新規債務負担行為内訳書
- Section 4 予定キャッシュ・フロー計算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)
- Section 5 予定貸借対照表(令和8年3月31日)



## 1. 対経営戦略・前年度当初予算比較

## (1) 収益的収入及び支出

(単位 千円)

	経営戦略 ①	前年度当初予算額 ②	予算案 ③	予算案－経営戦略 ③－①	予算案－前年度 ③－②
水道事業収益	22,929,557	21,132,376	21,839,455	△ 1,090,102	707,079
営業収益	20,329,427	19,646,496	20,203,326	△ 126,101	556,830
分賦金	19,673,643	19,626,984	19,763,968	90,325	136,984
受託工事収益	501,101	11,309	306,855	△ 194,246	295,546
その他営業収益	154,683	8,203	132,503	△ 22,180	124,300
営業外収益	2,225,854	1,097,979	1,261,723	△ 964,131	163,744
受取利息	898	2,556	38,045	37,147	35,489
補助金	15,371	11,979	17,207	1,836	5,228
長期前受金戻入	952,372	939,384	947,206	△ 5,166	7,822
消費税及び地方消費税	1,113,153	0	115,982	△ 997,171	115,982
雑収益	144,060	144,060	143,283	△ 777	△ 777
特別利益	374,276	387,901	374,406	130	△ 13,495
水道事業費用	20,135,705	18,395,738	19,849,255	△ 286,450	1,453,517
営業費用	19,201,860	17,219,834	18,920,145	△ 281,715	1,700,311
職員給与費	1,925,055	1,930,427	1,984,549	59,494	54,122
浄化費	1,162,368	863,292	1,012,771	△ 149,597	149,479
動力費	3,434,264	3,376,619	3,686,461	252,197	309,842
施設管理費	2,454,784	2,213,161	2,631,362	176,578	418,201
受託工事費	501,101	11,309	306,855	△ 194,246	295,546
物件費	192,505	188,974	179,245	△ 13,260	△ 9,729
諸費	1,222,249	1,082,020	1,368,839	146,590	286,819
水源管理負担金	545,234	461,630	479,710	△ 65,524	18,080
減価償却費	※ 7,415,751	7,012,345	6,924,539	△ 491,212	△ 87,806
資産減耗費	348,549	80,057	345,814	△ 2,735	265,757
営業外費用	554,566	746,093	549,700	△ 4,866	△ 196,393
企業債利息	535,624	485,372	526,792	△ 8,832	41,420
割賦負担金利息	12,359	13,277	12,359	0	△ 918
借入金利息	1	1	1	0	0
消費税及び地方消費税	0	238,760	0	0	△ 238,760
雑支出	6,582	8,683	10,548	3,966	1,865
特別損失	374,279	424,811	374,410	131	△ 50,401
予備費	5,000	5,000	5,000	0	0
収支差引額	2,793,852	2,736,638	1,990,200	△ 803,652	△ 746,438

## (2) 資本的収入及び支出

(単位 千円)

	経営戦略 ①	前年度当初予算額 ②	予算案 ③	予算案－経営戦略 ③－①	予算案－前年度 ③－②
資本的収入	10,088,221	5,033,628	6,204,202	△ 3,884,019	1,170,574
企業債	9,081,600	3,939,000	5,327,000	△ 3,754,600	1,388,000
出資金	508,477	527,334	508,478	1	△ 18,856
国庫補助金	498,141	567,291	368,721	△ 129,420	△ 198,570
固定資産売却代金	1	1	1	0	0
工事負担金	1	1	1	0	0
その他資本収入	1	1	1	0	0
資本的支出	27,734,093	13,696,512	16,534,725	△ 11,199,368	2,838,213
建設改良費	23,709,663	9,379,401	12,439,064	△ 11,270,599	3,059,663
企業債償還金	3,452,100	3,730,629	3,452,104	4	△ 278,525
水利負担金	44,446	43,527	44,446	0	919
国庫補助金返還金	34,963	30,855	106,189	71,226	75,334
出資金返還金	492,921	512,100	492,922	1	△ 19,178
資本的収支不足額(△)	△ 17,645,872	△ 8,662,884	△ 10,330,523	7,315,349	△ 1,667,639
補てん財源	22,647,252	21,741,585	22,128,424	△ 518,828	386,839
消費税及び地方消費税資本的 収支調整額	2,075,335	812,385	1,086,712	△ 988,623	274,327
損益勘定留保資金等	15,551,807	16,522,739	15,370,463	△ 181,344	△ 1,152,276
利益剰余金	5,020,110	4,406,461	5,671,249	651,139	1,264,788
前年度未資金残額	13,078,701	15,408,892	13,842,499	763,798	△ 1,566,393
当年度資金過不足(△)額	△ 8,077,321	169,350	△ 2,044,598	6,032,723	△ 2,213,948
当年度未資金残額	5,001,380	15,578,242	11,797,901	6,796,521	△ 3,780,341

※経営戦略における減価償却費は、誤算により過大に計上（約4億円）されています。

## (3) 収益的収入及び支出（税抜）

(単位 千円)

	経営戦略 ①	前年度当初予算額 ②	予算案 ③	予算案－経営戦略 ③－①	予算案－前年度 ③－②
水道事業収益	19,964,954	19,343,027	19,884,073	△ 80,881	541,046
営業収益	18,481,302	17,860,472	18,367,179	△ 114,123	506,707
分賦金	17,885,134	17,842,714	17,967,244	82,110	124,530
受託工事収益	455,546	10,300	279,477	△ 176,069	269,177
その他営業収益	140,622	7,458	120,458	△ 20,164	113,000
営業外収益	1,109,376	1,094,654	1,142,488	33,112	47,834
受取利息	898	2,556	38,045	37,147	35,489
補助金	15,371	11,979	17,207	1,836	5,228
長期前受金戻入	952,372	939,384	947,206	△ 5,166	7,822
雑収益	140,735	140,735	140,030	△ 705	△ 705
特別利益	374,276	387,901	374,406	130	△ 13,495
水道事業費用	19,351,305	17,492,647	19,062,828	△ 288,477	1,570,181
営業費用	18,413,856	16,552,090	18,127,922	△ 285,934	1,575,832
職員給与費	1,921,568	1,926,940	1,981,072	59,504	54,132
浄化費	1,123,090	851,851	994,466	△ 128,624	142,615
動力費	3,122,169	3,069,769	3,352,091	229,922	282,322
施設管理費	2,231,615	2,011,953	2,392,136	160,521	380,183
受託工事費	455,546	10,300	279,477	△ 176,069	269,177
物件費	175,228	172,008	163,157	△ 12,071	△ 8,851
諸費	1,124,671	997,204	1,259,070	134,399	261,866
水源管理負担金	495,669	419,663	436,100	△ 59,569	16,437
減価償却費	7,415,751	7,012,345	6,924,539	△ 491,212	△ 87,806
資産減耗費	348,549	80,057	345,814	△ 2,735	265,757
営業外費用	558,170	510,746	555,496	△ 2,674	44,750
企業債利息	535,624	485,372	526,792	△ 8,832	41,420
割賦負担金利息	12,359	13,277	12,359	0	△ 918
借入金利息	1	1	1	0	0
雑支出	10,186	12,096	16,344	6,158	4,248
特別損失	374,279	424,811	374,410	131	△ 50,401
予備費	5,000	5,000	5,000	0	0
収支差引額	613,649	1,850,380	821,245	207,596	△ 1,029,135



(単位 千円)

## 2. 建設改良費明細書

(単位 千円)

科 目	金 額	施 工 区 分
原水施設費	244,705	
設備改良費	244,199	<b>管路整備</b> 4期大道導水管更新工事基本検討業務委託 電食防止施設整備工事 <b>構造物、構築物整備</b> 淀川取水場管理棟築造工事設計見直し業務委託及び工事監理業務委託 <b>設備機器更新</b> 大道取水場電気設備更新基本検討業務委託 大道取水場制御機器用冷却装置取替工事 大道取水場特高受変電設備更新事業 淀川取水場分析計取替工事
固定資産購入費	506	作業用器具
浄水施設費	3,638,725	
設備改良費	3,580,179	<b>構造物、構築物整備</b> 猪名川浄水場改修工事その3 尼崎浄水場浸水対策パネル設置工事 <b>設備機器更新</b> 猪名川浄水場Ⅰ系集泥設備操作盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場Ⅰ系フロキュレータ現場操作盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場Ⅲ系ろ過池設備取替工事設計業務委託 猪名川浄水場配電設備取替工事設計業務委託 猪名川浄水場Ⅲ系中間ポンプ設備取替工事 猪名川浄水場濃縮槽流入弁取替工事 猪名川浄水場改修工事その3 (機械電気設備) 猪名川浄水場及び尼崎浄水場 制御機器用冷却装置取替工事 猪名川浄水場及び尼崎浄水場 分析計取替工事その2 尼崎浄水場オゾン設備取替工事設計業務委託 尼崎浄水場計測震度計取替工事 尼崎浄水場蒸気ボイラ取替工事 尼崎浄水場沈澱池設備現場操作盤取替工事 尼崎浄水場発電機設備設置工事に伴う事業者選定支援業務委託 尼崎浄水場硫酸貯蔵槽増築工事詳細設計業務委託 尼崎浄水場計算機制御装置取替工事 計算機制御装置取替工事
固定資産購入費	58,546	事務用器具 作業用器具 水質試験用器具

科 目	金 額	施 工 区 分
配水施設費	7,095,795	
設備改良費	7,095,520	<b>管路整備</b> 管路更新事業 (1期東部難波線) その3 管路更新事業 (3期芦部谷) その2 管路更新事業 (3期芦部谷) その3 管路更新事業 (3期甲東) 甲東ポンプ場場内配管更新に係る基本検討業務委託 東部配水管 (猪名川) 整備工事 <b>構造物、構築物整備</b> 甲東ポンプ場受電棟築造工事に伴う工事監理業務委託 甲東ポンプ場倉庫・油庫撤去新設工事 上ヶ原水管橋耐震補強及び地すべり対策工事 上ヶ原接合井及び甲山調整池連絡施設築造工事 明石市新規供給分岐管整備工事 <b>設備機器更新</b> センター設備取替工事 甲東ポンプ場3期送水A-1、B-1号起動制御盤取替工事 甲東ポンプ場消火設備取替工事 甲東ポンプ場第2・3ポンプ室排水設備取替工事 甲東ポンプ場第3ポンプ室給排気装置取替工事 上ヶ原接合井及び甲山調整池連絡施設築造工事に伴う設備工事 送水センター分析計取替工事 送水センター分析計設置工事 送水センター無停電源装置取替工事 送水センター冷暖房機設備取替工事 猪名川浄水場送水ポンプ設備取替工事その2 猪名川浄水場配水6号ポンプ取替工事 配水流量計取替工事
固定資産購入費	275	作業用器具
営業施設費	1,054,218	
設備改良費	1,022,342	<b>構造物、構築物整備</b> 本庁舎改修工事その2 本庁舎改修工事その2-2 <b>設備機器更新</b> テレメータ設備取替工事 施設情報管理設備取替工事
固定資産購入費	31,876	事務用器具
事務費	405,621	
合 計	12,439,064	



(単位 千円)

## 3. 新規債務負担行為内訳書

(単位 千円)

事 項	期 間	限度額
施設維持管理事業	令和7年度から 令和24年度まで	2,701,558
明石市への送水に関する業務委託 浸水被害想定調査業務委託 オゾン処理施設の性能評価に関する調査研究 設備点検システム利用料 甲山地区斜面監視システム保守業務委託 情報通信設備保守業務委託 設備工事積算システム保守業務委託 緊急時燃料配送サービス業務委託 II系中間ポンプ点検整備工事 起動制御盤点検整備工事 受配電設備点検整備工事 情報通信設備点検整備工事 水管橋塗装工事 導水ポンプ設備点検整備工事その2 導水ポンプ用回転数制御装置点検整備工事 送水ポンプ設備点検整備工事 送水ポンプ用回転数制御装置点検整備工事 送配水ポンプ回転数制御装置点検整備工事 送配水ポンプ用回転数制御装置点検整備工事その3 尼崎浄水場非常用発電設備維持管理業務委託 配電設備点検整備工事 配電設備点検整備工事その3		
管路整備事業	令和7年度から 令和14年度まで	10,234,730
東部配水管（猪名川）整備工事		
構造物等整備事業	令和7年度から 令和10年度まで	1,294,256
3期甲東送水路上ヶ原量水池改修工事及び甲山調整池連絡管築造工事 猪名川浄水場改修工事その3 猪名川浄水場新電気棟築造工事設計見直し業務委託 甲東ポンプ場受電棟築造工事 甲東ポンプ場受電棟築造工事に伴う工事監理業務委託		

事 項	期 間	限度額
設備整備事業	令和7年度から 令和10年度まで	10,773,580
大道取水場導水ポンプ設備取替工事 大道取水場排水ポンプ設備取替工事 大道取水場分析計取替工事 大道取水場4期導水A-5エンジン用地下タンク設置基本設計業務委託 大道5期導水流量計取替工事 猪名川浄水場改修工事その3（機械電気設備） 猪名川浄水場I系集泥ポンプ取替工事 猪名川浄水場II系沈澱池スラッジ引き弁取替工事 猪名川浄水場II系オゾン取替工事 猪名川浄水場III系回収ポンプ取替工事設計業務委託 猪名川浄水場III系活性炭現場統括盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場III系集泥用空気圧縮機取替工事 猪名川浄水場III系沈澱池設備取替工事基本設計及び導入可能性調査業務委託 猪名川浄水場フロック監視カメラ設置工事 猪名川浄水場受電設備基本検討業務委託 猪名川浄水場操作盤取替工事 猪名川浄水場脱水機設備取替工事基本設計及び導入可能性調査業務委託 猪名川浄水場直流電源装置取替工事設計業務委託 猪名川浄水場特高受電設備監視装置取替工事 猪名川浄水場濃縮槽現場操作盤取替工事 猪名川浄水場配水ポンプ取替工事基本設計業務委託 猪名川浄水場分析計取替工事 猪名川浄水場分析計設置工事 猪名川浄水場北機械室配電設備取替工事 猪名川浄水場送配水ポンプ設備取替工事 猪名川浄水場及び尼崎浄水場活性炭設備取替工事設計業務委託 尼崎浄水場A系急速混和池攪拌機取替工事 尼崎浄水場ろ過池揚水ポンプ取替工事設計業務委託 尼崎浄水場循環加圧水ポンプ取替工事 尼崎浄水場制御機器用冷却装置取替工事設計業務委託 尼崎浄水場分析計取替工事 尼崎浄水場非常用発電設備設置工事 2-3期芦部谷送水流量計取替工事 甲東5期受水流量計取替工事 送水センター分析計取替工事 甲東ポンプ場受配電設備取替工事 西宮ポンプ場送水5号用エンジン取替工事 西宮ポンプ場無停電電源装置取替工事		

#### 4. 予定キャッシュ・フロー計算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

		(単位 千円)
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	821,245
	減価償却費	6,924,539
	固定資産除却費	345,804
	退職給付引当金の増減額 (△は減少)	80,860
	賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 26,602
	法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	△ 4,834
	長期前受金戻入	△ 947,206
	受取利息	△ 38,045
	支払利息及び企業債取扱諸費	539,152
	その他	10
	小計	7,694,923
	受取利息	38,045
	支払利息及び企業債取扱諸費	△ 539,152
	業務活動によるキャッシュ・フロー	7,193,816
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 11,343,805
	無形固定資産の取得による支出	△ 44,446
	有形固定資産の売却による収入	1
	補助金等による収入	368,723
	補助金の返還による支出	△ 106,189
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,125,716
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための 企業債による収入	5,327,000
	建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 3,452,104
	構成団体からの出資による収入	508,478
	出資金の返還による支出	△ 492,922
	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,890,452
	資金増加額 (又は減少額)	△ 2,041,448
	資金期首残高	14,025,532
	資金期末残高	11,984,084



## 5. 予定貸借対照表(令和8年3月31日)

資 産 の 部		負 債 の 部		(単位 千円)
1. 固定資産		3. 固定負債		
(1) 有形固定資産		(1) 企業債		
イ. 土地	7,935,577	イ. 建設改良費等の財源に		
ロ. 建物	21,170,872	充てるための企業債	27,040,787	
減価償却累計額	<u>△ 12,051,358</u>	企業債合計	27,040,787	
ハ. 構築物	174,681,273	(2) 引当金		
減価償却累計額	<u>△ 99,461,387</u>	イ. 退職給付引当金	2,447,273	
ニ. 機械及び装置	93,705,392	引当金合計	2,447,273	
減価償却累計額	<u>△ 72,602,530</u>	固定負債合計	29,488,060	
ホ. 車両運搬具	61,371	4. 流動負債		
減価償却累計額	<u>△ 38,281</u>	(1) 企業債		
ヘ. 器具備品	1,156,677	イ. 建設改良費等の財源に		
減価償却累計額	<u>△ 715,827</u>	充てるための企業債	3,211,647	
ト. 建設仮勘定	17,804,794	企業債合計	3,211,647	
有形固定資産合計	131,646,573	(2) 引当金		
(2) 無形固定資産		イ. 賞与引当金	154,659	
イ. 水利権	8,072,648	ロ. 法定福利費引当金	31,524	
ロ. 電話加入権	1,082	引当金合計	186,183	
無形固定資産合計	8,073,730	流動負債合計	3,397,830	
(3) 投資その他の資産		5. 繰延収益		
イ. 投資有価証券	500,000	(1) 長期前受金	58,458,992	
ロ. 出資金	69,856	収益化累計額	<u>△ 38,075,837</u>	
投資その他の資産合計	569,856	繰延収益合計	20,383,155	
固定資産合計	140,290,159	負債合計	53,269,045	
2. 流動資産		6. 資本金	90,977,725	
(1) 現金預金	11,984,084	7. 剰余金		
(2) 貯蔵品	127,016	(1) 資本剰余金		
流動資産合計	12,111,100	イ. 補助金	2,033,213	
資産合計	152,401,259	ロ. 受贈財産評価額	43	
		ハ. 工事負担金	218,497	
		ニ. その他資本剰余金	231,487	
		資本剰余金合計	2,483,240	
		(2) 利益剰余金		
		イ. 利益積立金	979,683	
		ロ. 当年度未処分利益剰余金	4,691,566	
		利益剰余金合計	5,671,249	
		剰余金合計	8,154,489	
		資本合計	99,132,214	
		負債資本合計	152,401,259	

**HANSHIN WATER SUPPLY AUTHORITY**